

研究協力をお願い

昭和大学病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

肺癌診療にける超音波内視鏡下穿刺吸引法（EUS-FNA）の有効性や安全性、手技選択の理由についての検討

1. 研究の対象および研究対象期間

2019 年 4 月から 2024 年 12 月までに昭和大学病院で肺癌の診断目的に
超音波内視鏡下穿刺吸引法（EUS-FNA）を施行した患者さん

2. 研究目的・方法

肺がんの治療では、患者さん一人ひとりに合った「個別化医療」が進んでいます。これには、遺伝子変異を狙った薬や免疫療法の薬剤が含まれます。遺伝子変異を確認することが必須となっており、正確で良質な検査結果を得るための検体採取がとても重要です。

通常、肺がんの診断には気管支鏡検査が推奨されています。しかし、場合によっては気管支を通じた検査が難しいケースもあります。そうしたときに、食道からアプローチする「超音波内視鏡下穿刺吸引法（EUS-FNA）」という方法が有効だと報告されています。この方法は、上部消化管内視鏡と超音波を使って、病変部分の組織を採取できる検査です。当院では、この EUS-FNA を用いて肺がんの診断を行った症例を対象に、その効果や安全性を詳しく調べています。この研究を通じて、より良い診断方法確立し、患者さんにより安全で適切な治療を提供することを目指しています。

3. 研究期間

昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから 2025 年 12 月 31 日まで

4. 研究に用いる試料・情報の種類

昭和大学病院で治療を行った肺癌患者データから、病理組織型、患者背景（年齢、性別、PS、身長、体重、診断病名、臨床病期、既往歴、合併症、現病歴、検査内容、検査結果、その後の治療内容、予後）画像検査（X 線検査、CT 検査、MRI 検査、FDG-PET 検査）臨床検査項目（血液、生化学査、尿検査、心電図、呼吸機能検査）などを用います。

5. 外部への試料・情報の提供

該当いたしません。

6. 研究組織

研究責任者 昭和大学病院（医学部内科学講座呼吸器アレルギー部門） 眞鍋亮

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属： 昭和大学病院（医学部内科学講座呼吸器アレルギー部門） 氏名：眞鍋亮

住所： 142-8666 東京都品川区旗の台 1-5-8 電話番号： 03-3784-8532